

教職員の皆様へ

教育センターだより【6号】

令和3年 7月15日 発行

創る

研修講座報告

518-0485

三重県名張市百合が丘西5番町25番地

事務室・教育よろず相談 1F

Tel 0595-64-8801 Fax 0595-64-8802

E-mail:kyouiku-ce@city.nabari.mie.jp

minakuru01@nabari-mie.ed.jp

ホームページ <http://www.nabari-mie.ed.jp/minakuru/>

適応指導教室(さくら教室) 2F

Tel 0595-63-7830 Fax 0595-64-8802

E-mail:sakura@nabari-mie.ed.jp

学校ボランティア室 1F

Tel 0595-64-8864 Fax 0595-64-8802



「Zoomを使ったオンライン授業配信」研修

4月22日(木)実施

講師 名張市教育委員会事務局 学校教育室・教育センター 指導主事 大杉 栄介

臨時休業等の状況が生じた場合、一人一台のタブレット端末を使用した「オンライン授業」や「オンライン学習」を実施する可能性があります。そのために、家庭内のネットワーク環境調査と対応の準備が必要となります。また教師の操作スキルの取得・ICT活用指導力の向上、児童生徒の操作スキルの習得が必要です。そこで、緊急時に対応することが出来るように、学校の対面の場面で練習し、準備をしておくことが大切であることを研修しました。

Zoom(オンラインビデオ会議システム)の使い方実演では、児童生徒側の手順、先生方手順を研修しました。手順については「ロイロノートの資料箱(三重県名張市→先生のみ→20教育センター→令和3→研修講座資料)」に入っていますのでご活用ください。

若手教員スキルアップ研修

「一人一台タブレット端末活用について」

7月2日(金)実施

講師 名張市教育委員会事務局 学校教育室・教育センター 指導主事 大杉 栄介

名張市教育委員会事務局 教育センター 指導主事 曾和 良友

ICTを活用した授業には、3つの壁(機器と環境・児童生徒の操作・先生の活用)があり、「機器と環境」については、市内小中学校に一人一台のタブレット端末、大型提示装置、ネットワーク環境が整備され改善されました。今回は「先生の活用」の壁を低くするための研修を行いました。

タブレット端末で課題や資料提示・提出する際の「コツ」や、「主体的・対話的で深い学び」の入り口として、ロイロノートを協働学習の場面で活用していく方法を学びました。ICTを使うことを目標にした授業ではなく、「ねらい」「めあて」をICTを活用して達成することが大切だということを研修しました。

また、実際にロイロノートを活用した中学校理科の授業を体験した後、グループで先生役、児童生徒役に分かれて実習をしました。受講者アンケートでは、「タブレットと黒板の使い分けなどをうまくしていくことで、効果的に指導を行うことができるのではないかと思います。学んだことを実践したい。」「算数や生活で活用できると思った。」「子どもの画面を見る機会があまりないので、子どもから見てどうなっているかがよくわかった。」といった感想がありました。

夏季研修講座でも、タブレット端末活用研修(中級講座7月30日(金)13:30~16:00・上級講座8月3日(火)9:00~12:00)を行います。ぜひ、ご参加ください。



夏季研修講座では、教育センターだより4号でお知らせしたように、情報教育以外にも、教科、生徒指導・特別支援教育、不登校、学級づくり、ふるさと学習、教育相談、幼児教育、若手スキルアップ研修等の研修講座を予定しています。

研究テーマ：学びの保障・充実のための
デジタル教科書・デジタル教材の有効活用について
～具体的な授業の展開～

名張市では第二次名張市子ども教育ビジョン後期計画の施策で「GIGA スクール構想の実現による学習活動の充実」を基本目標の主な取組として位置づけています。昨年度タブレット端末が児童生徒に一人一台導入されるとともに、本年度「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」のモデル校として市内10校に学習者用デジタル教科書、指導者用デジタル教科書が導入されました。

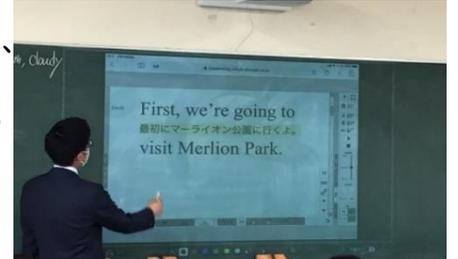
そこで、デジタル教科書やタブレット端末を有効活用し、多様な教科・学年・単元等においてどのように授業を展開していくのがよいかを研究していきます。

ICT 機器やデジタル教科書、デジタル教材の使い方を検討するのではなく、それらのデジタル機器を使用することによって、「主体的・対話的で深い学び」につながる場面が作れるのか、配慮が必要な児童生徒にとってどのような場面で使用が有効なのか、また授業改善につながるか研究します。

また、教科書のデジタル化のメリット、デメリットを踏まえて研究していきます。便利な機能はたくさんありますが、そのような機能を安易に使用してしまうことにより「わかった」が「わかったつもり」になってしまっていないか、従来の紙の教科書を使用したり、紙に書いたりしなければならぬ場面があるのではいか、という視点を持ちつつ研究を進めていかなければならないと考えています。

各校でも、タブレット端末等のデジタル機器や、デジタル教材の活用が進んでいると思います。プロジェクト研究の一環として、そのような各校の取組を教育センター研修員が参観させていただきたいと考えています。ご協力をお願いいたします。

また、タブレット端末等の活用でお困りのことがございましたら、教育センターまで、ご相談ください。



ポッチャセット
ご利用ください!

ポッチャセットを、「株式会社 ソウルクリエイティブミュージック」(中村 大輔 代表取締役社長)からご寄贈いただきました。「ポッチャ」はパラリンピックの正式種目でもあり、誰とでも一緒に楽しめるスポーツです。そんなポッチャをより多くの子どもたちに体験



してほしい、また、中村社長の出身地である地域の子どものための教育活動の充実に貢献したいという思いから寄贈していただきました。ポッチャは、ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに赤青それぞれ6球ずつのボールを交互に投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりしていかに近づけるかを競うスポーツです。老若男女、障がいのあるなしにかかわらず、全ての人と一緒に楽しむことができます。ぜひ授業やレク大会等でご活用ください。

貸出希望の際は、校長先生の許可を得た上で、教育センターに電話でお申し込みください。

研修講座案内

「テーブルマジック教室
～子どものハートをつかむコミュニケーション術～」

子どもたちが驚いて笑顔になるテーブルマジックの手順を学ぶことができます。夏休み明けの学級開き、久しぶりに会う子どもたちをマジックで笑顔にしませんか。マジックは観客の反応や発する言葉を拾いながら、見ている人を巻き込んでいくことが大切です。手品を学びながらコミュニケーション能力身に付けましょう。

講師の野田雅俊先生は、県内の小中学校、市町文化講座等でテーブルマジック教室を行っています。本講座は、コミュニケーション能力アップの絶好のチャンスです！マジックで2学期を笑顔でスタートさせましょう！！

講師：野田 雅俊 さん テーブルマジック教室講師
日時：8月26日(木) 13:00~15:00
場所：教育センター 大研修室

申込締切
7月20日(火)

